

授業科目	*初年次セミナー I					実務家教員担当科目	-				
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	木村 茂喜、杉谷 修一、金谷 めぐみ、杉本 有紗、水貝 洵子										
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探究していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーI および II で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナーI では、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用方法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p> <p>※第3回～第14回では、学生を5つのグループ（後期の初年次セミナーII と共通）に分け、1人の教員が4回ずつ、合計3名の教員が担当する。また、第3回～第6回、第7回～第10回、第11回～第14回の授業計画はあくまで例であり、テーマ・講義内容、授業の運営方法、学習課題は各担当教員によって異なる。詳細については、第2回で各担当教員から説明する。</p>										
授業形態	合同講義(第1回・第2回・第15回)		各担当教員による演習(第3回～第14回)		授業方法	PBL (課題解決型学習)、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができる。(DP1-1) ・グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) ・他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べることができる。(DP3-1) 										
理想的レベル	<p>「標準的なレベル」に加えて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のために、探究する姿勢を身につけることができる。(DP4-1) ・自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合 (数値)				備考					
試験											
小テスト											
レポート		30%									
発表(口頭、プレゼンテーション)		30%									
レポート外の提出物		25%									
その他		15%				授業中の発言など、授業に積極的に参加する姿勢により評価する。					
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE10201J
学習課題 (予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	

担当教員より適宜指示する。		1
授業計画		
第1回	テーマ：大学での学びとは（木村政伸） ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは	
第2回	テーマ：ガイダンス（福祉学科担当全教員・図書館職員） 初年次セミナーIの進め方について、各担当教員が説明し、図書館の紹介と文献・資料の扱い方について解説し、夏休み課題レポートについて説明する。	
第3回	テーマ：文章の構成について学ぶ（担当教員1） 文章の基本的な構成方法（三段構成や四段構成）について学習したうえで、文章を読み要約する。	
第4回	テーマ：多角的な視点からものごとを考える（担当教員1） ひとつのテーマについて、多くの考えやアイデアを生成するブレインストーミングに取り組む。	
第5回	テーマ：批判的に思考する（担当教員1） 自分の考えや意見に対し、反対の立場から批判を考え、自分の考えを吟味する。	
第6回	テーマ：レポートを書こう（担当教員1） レポートを書くうえでの文章上の注意点について解説する。これまで授業で作成した文章を見直し、注意点について理解する。	
第7回	テーマ：社会生活と法(1)法の存在意義について（担当教員2） 社会における法の役割について考える。	
第8回	テーマ：社会生活と法(2)法に関する文書を読む（担当教員2） 最近問題になっている、法に関する文章を読み、その要点を要約する。	
第9回	テーマ：社会生活と法(3)思考マップ・アウトライン作成（担当教員2） 前回要約したものについて、わからない語句や疑問に思った点について調べ、疑問を感じた点についての思考マップ・アウトラインを作成する。	
第10回	テーマ：社会生活と法(4)法に関する文章を書く（担当教員2） 思考マップ・アウトラインをもとに、レポートの構成を考える。	
第11回	テーマ：ブックレポートを書く(1)対象への関心を高める（担当教員3） ・対象のイメージアップを図る。 ・テキスト批評を学ぶ。	
第12回	テーマ：ブックレポートを書く(2)文献を利用する（担当教員3） 指定する学問領域の専門書を分析し、紹介する。	
第13回	テーマ：ブックレポートを書く(3)意見と根拠を述べる（担当教員3） レポートの各部分を振り返り、レポートを全体としてまとめる。	
第14回	テーマ：ブックレポートを書く(4)まとめる・評価する（担当教員3） ・自分のレポートを読む。 ・自分のレポートにコメントする。 ・振り返り	
第15回	テーマ：初年次セミナーIのまとめ（福祉学科全担当教員） 初年次セミナーIの内容について振り返るとともに、夏休み課題レポートについて説明する。	
テキスト	特に定めない。	

参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	テーマに即した文献・資料について、担当各教員より紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	担当教員によって多少異なるので、不明な点があれば、各担当教員に問い合わせること。
学生へのメッセージ・コメント	授業で関心のあったテーマについては、積極的に図書館やインターネットを利用するなどして知識を深めることを勧める。 演習・グループワーク等では各自の積極的な参加を期待している。 初年次セミナーIでの学習内容の到達度を確認するため、夏季休業期間中に各自レポートを執筆し、提出すること。レポートのテーマ、書式、提出期限など、詳細については、第15回で説明する。なお、このレポートは初年次セミナーIIの成績評価に加える。

